株式会社デジタルガレージ
2013年6月期 第2四半期 決算説明会

2013.2.13

Digital Garage
Providing New Contexts

目　次

■ ミッション&ビジネスモデル　・・・・・・・　3

■ グループ業績レビュー　・・・・・・・　9

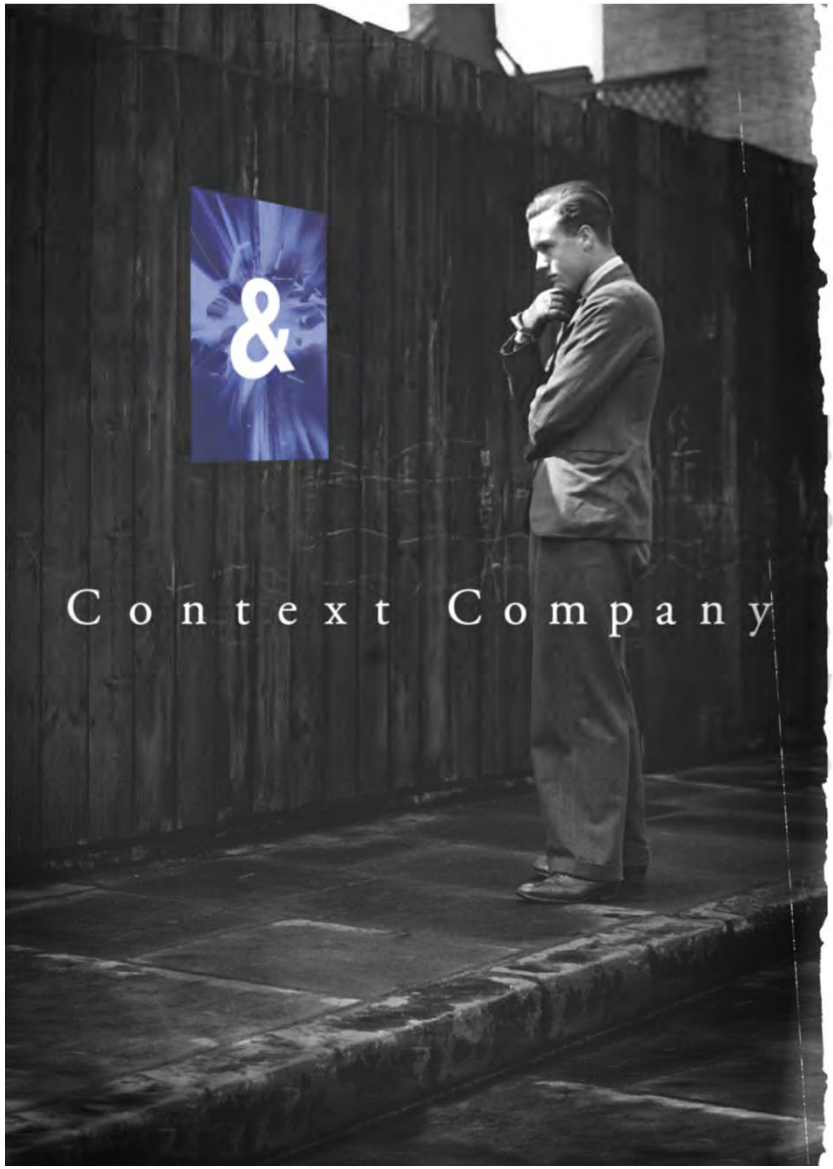
■ 事業セグメント別レビュー　・・・・・・・　19

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ミッション & ビジネスモデル

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DGのMission



Real & Cyber

Local & International

Marketing & Technology

Present & Future

を結ぶ

Context Company

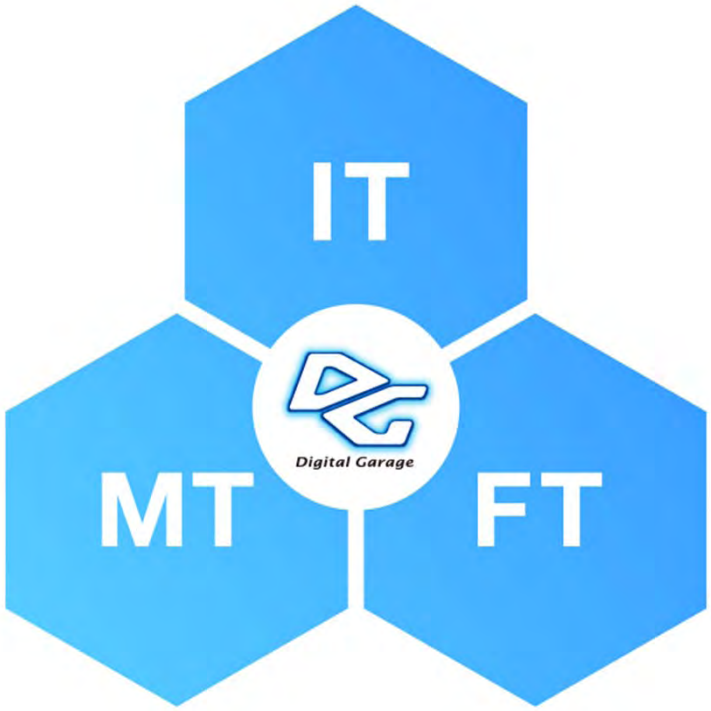
として

インターネット時代における
新しい生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DGのビジネスモデル

インターネットビジネスを
IT/MT/FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート



★ Information Technology

★ Marketing Technology

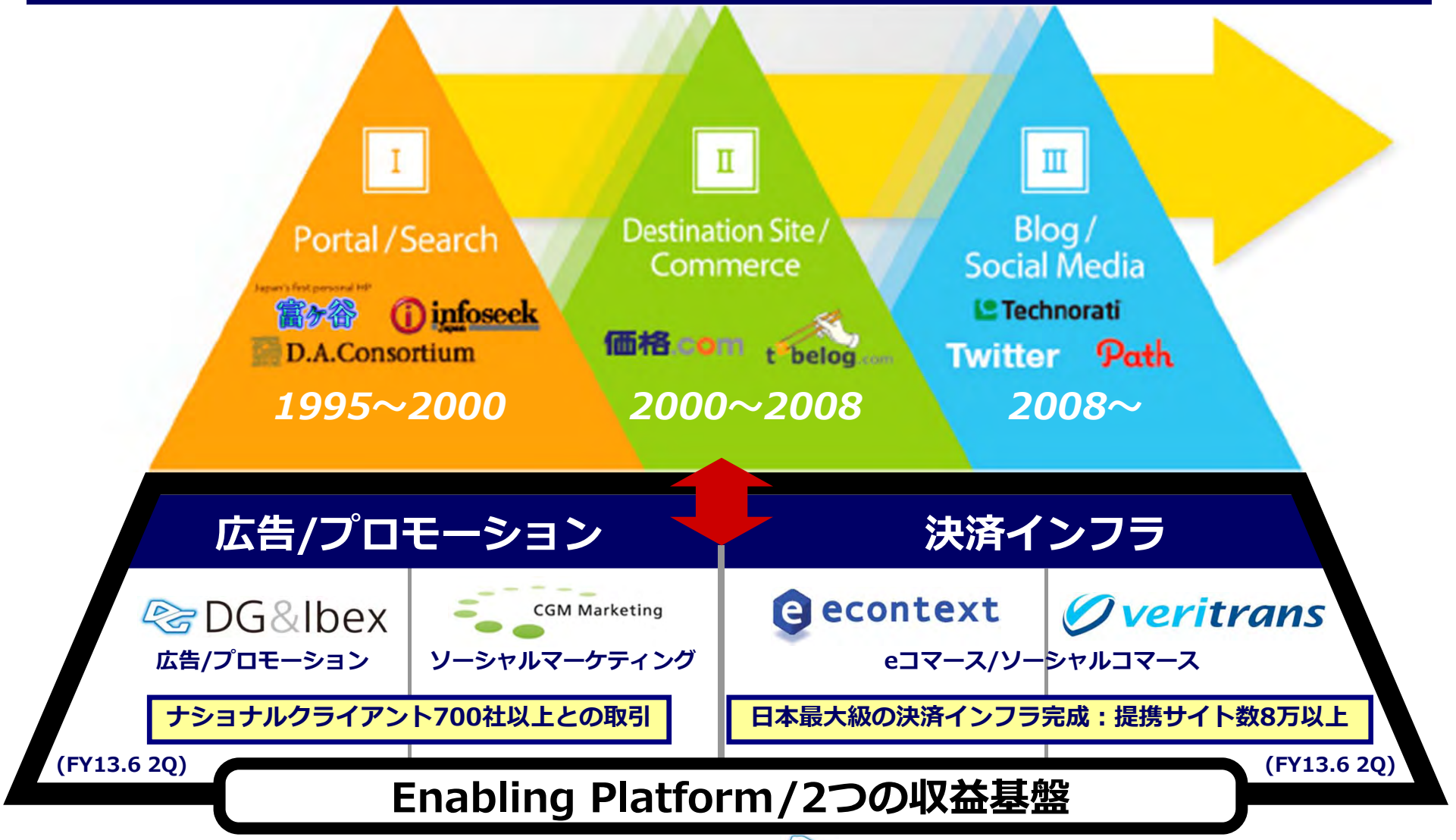
★ Financial Technology

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Enabling Platformを基盤としたインキュベーションモデル

context company

独自のEnabling Platformを活用し、DGはインキュベーターとして
インターネット黎明期より日本で独創的なインターネットサービスを創造



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

新中期経営計画の初年度は、計画を上回る立ち上がり

～「インキュベーション」及び「ペイメント」のグローバル展開加速。電通と資本業務提携～

Ⅰ 2013年6月期 第2四半期 上方修正

- ベリトランス連結した**「ペイメント」**が業績を牽引、**「マーケティング」**も底堅く推移
- **「インキュベーション」**では株式売却の期ずれも、当初連結予算を大幅に上回る

Ⅱ 電通と資本業務提携、各種データを核に中期マーケティング戦略着手

- 最先端**マーケティングテクノロジー**の発掘および国内外における事業化で連携
- **デジタルマーケティング**事業及び**ビジネスインテリジェンス**事業を推進

Ⅲ インキュベーション及びペイメントセグメントの中期戦略の推進

- グローバルインキュベーションの加速に向け、**アジャイル開発**会社**Neo**のM&A完了
- 香港に**「ペイメントHQ」**を設立、成長著しい新興アジアマーケットへの展開を開始

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

電通との資本業務提携

context company

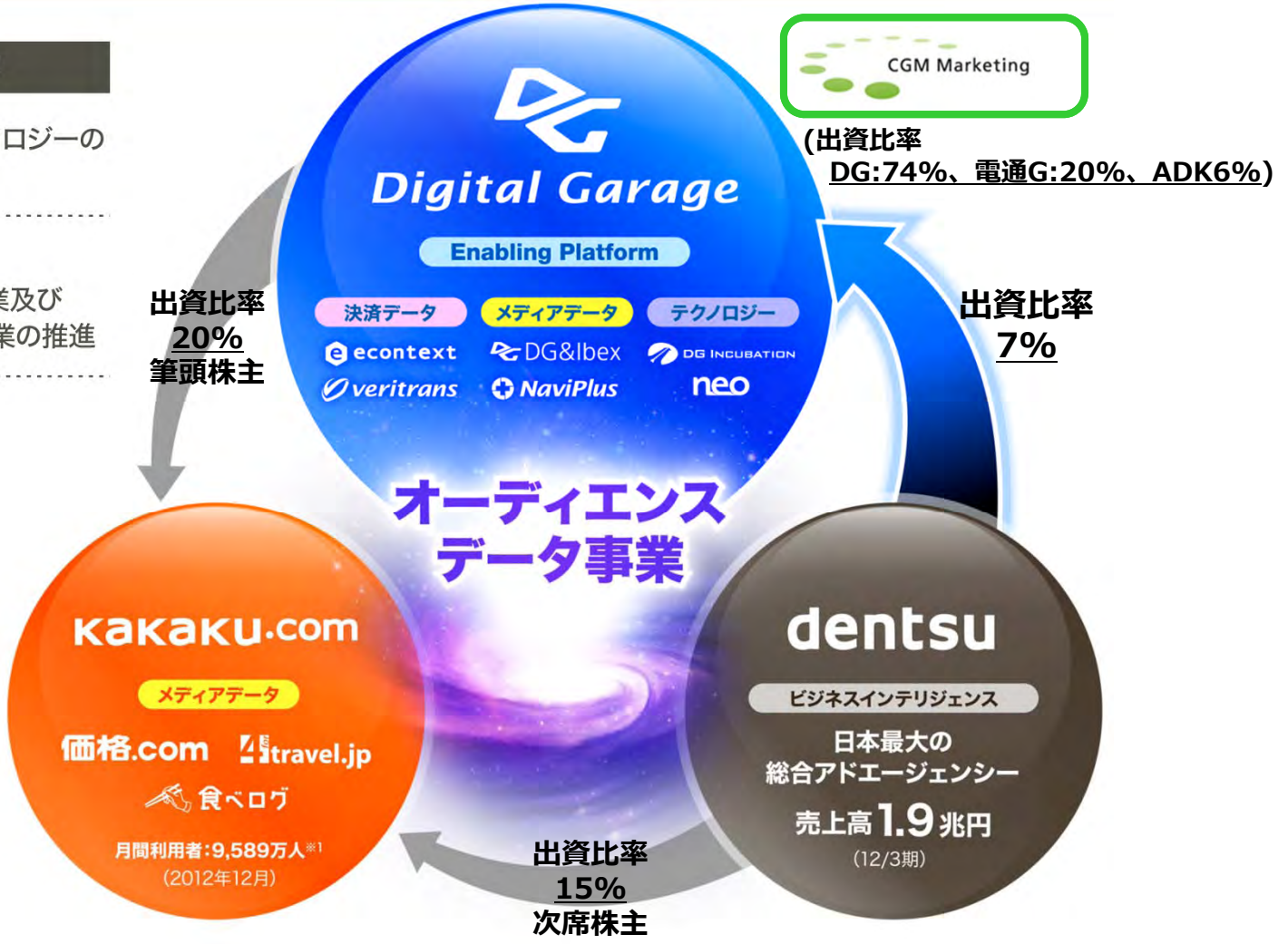
新中期戦略の柱の1つに据えたオーディエンスデータ事業を本格的に始動
～ マーケティング領域におけるインキュベーションとAD 2 Commerce事業の推進 ～

資本業務提携の内容

I 最先端マーケティング・テクノロジーの発掘および事業化

II 各種データを活用したデジタル・マーケティング事業及びビジネスインテリジェンス事業の推進

III 第三者割当増資の実施



※1 株式会社カカクコムIR資料

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グループ業績レビュー

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

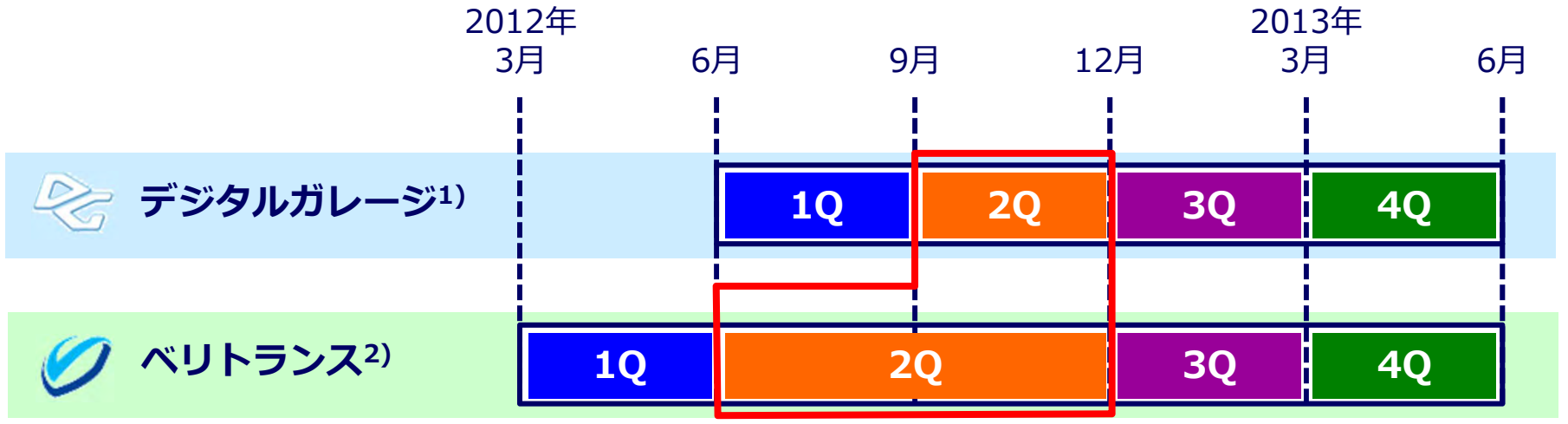
context company

econtext ASIA(香港HQ)に国際会計基準（IFRS）導入

決済子会社の決算期統一/グループ管理強化しアジア展開を加速

■ 本第2四半期変則決算

ベリトランス及びその連結子会社4社の決算期を3月末から6月末へ変更。
決算期変更会社については本第2四半期に6ヵ月分を変則的に計上。



Note: 1) 株式会社デジタルガレージ、株式会社イーコンテクスト、econtext ASIA Ltd.、株式会社DGインキュベーション、株式会社Open Network Lab、株式会社CGMマーケティング
2) ベリトランス株式会社、ナビプラス株式会社、eCURE株式会社、iResearch Japan株式会社、シェアリーチャイナ株式会社
なお、米国子会社のDGUS, Inc.ならびにその子会社のDG Development LLCとNeo Innovation, Inc.及びその連結子会社については、決算期を3月末のままとしている

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2013年6月期 第2四半期 P/L （連結）

context company

売上高及びEBITDAは、前年同期比2倍超

5.3億円ののれん償却費を吸収し、営業利益は前年同期比56%増益

単位：百万円	FY12.6 2Q	FY13.6 2Q		比率	
	（累計実績）	（期初予想）	（累計実績）	（前年同期比）	（予想比）
売上高	6,297	11,000	13,846	*2.2*倍	*+26%*
インキュベーション	600	1,000	748	*+25%*	*-25%*
マーケティング	3,845	4,300	5,113	*+33%*	*+19%*
ペイメント	1,851	5,700	7,984	*4.3*倍	*+40%*
営業利益	302	150	472	*+56%*	*3.1*倍
インキュベーション	250	50	▲ 202	*n.a*	*n.a*
マーケティング	282	200	249	*-11%*	*+25%*
ペイメント	282	450	789	*2.8*倍	*+75%*
経常利益	665	700	1,167	*+75%*	*+67%*
当期純利益	610	350	913	*+50%*	*2.6*倍
EBITDA	**869**	**1,400**	**2,269**	***2.6*倍**	***+62%***
のれん償却費	88	400	533	*6.1*倍	*+33%*

Note: セグメント営業利益は、消去又は全社費用控除前ベース。EBITDAは簡易試算。

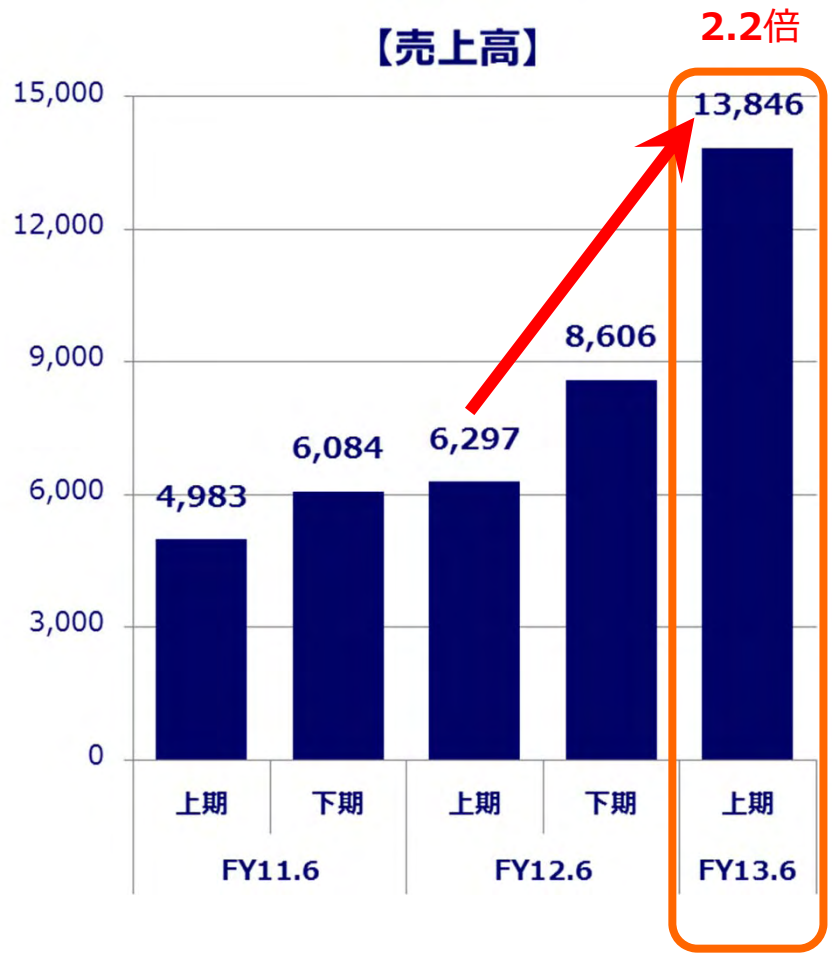
Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

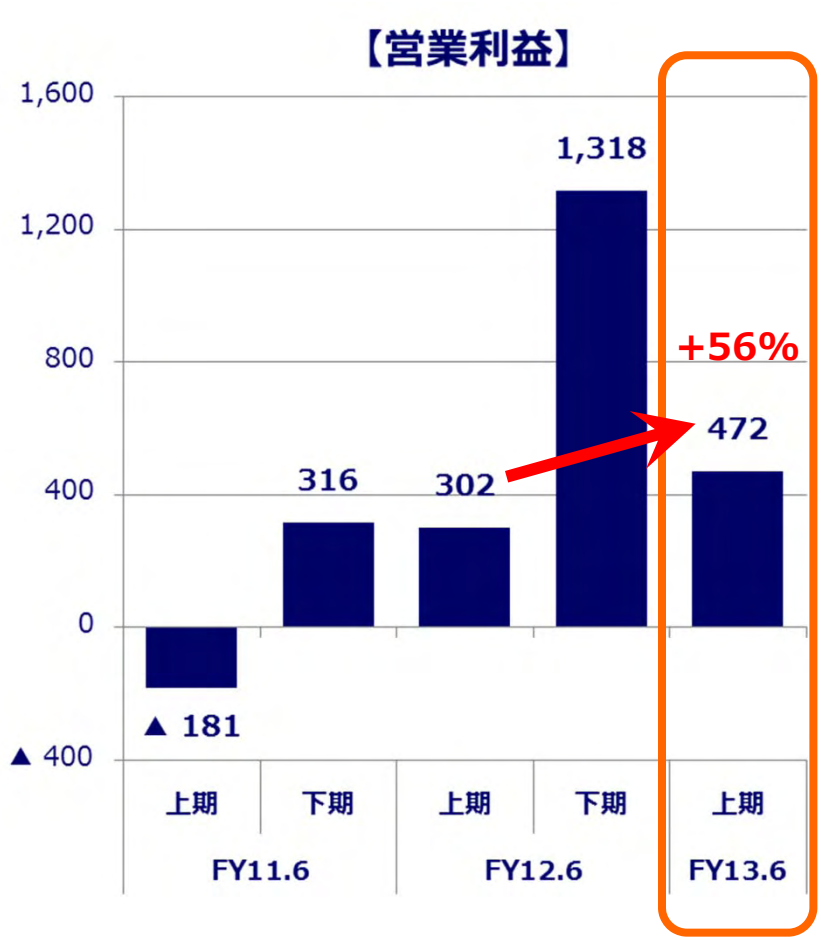
連結売上高と営業利益の半期別推移

context company

～ 売上高前年同期比2.2倍、営業利益同56%増益 ～

（単位：百万円）





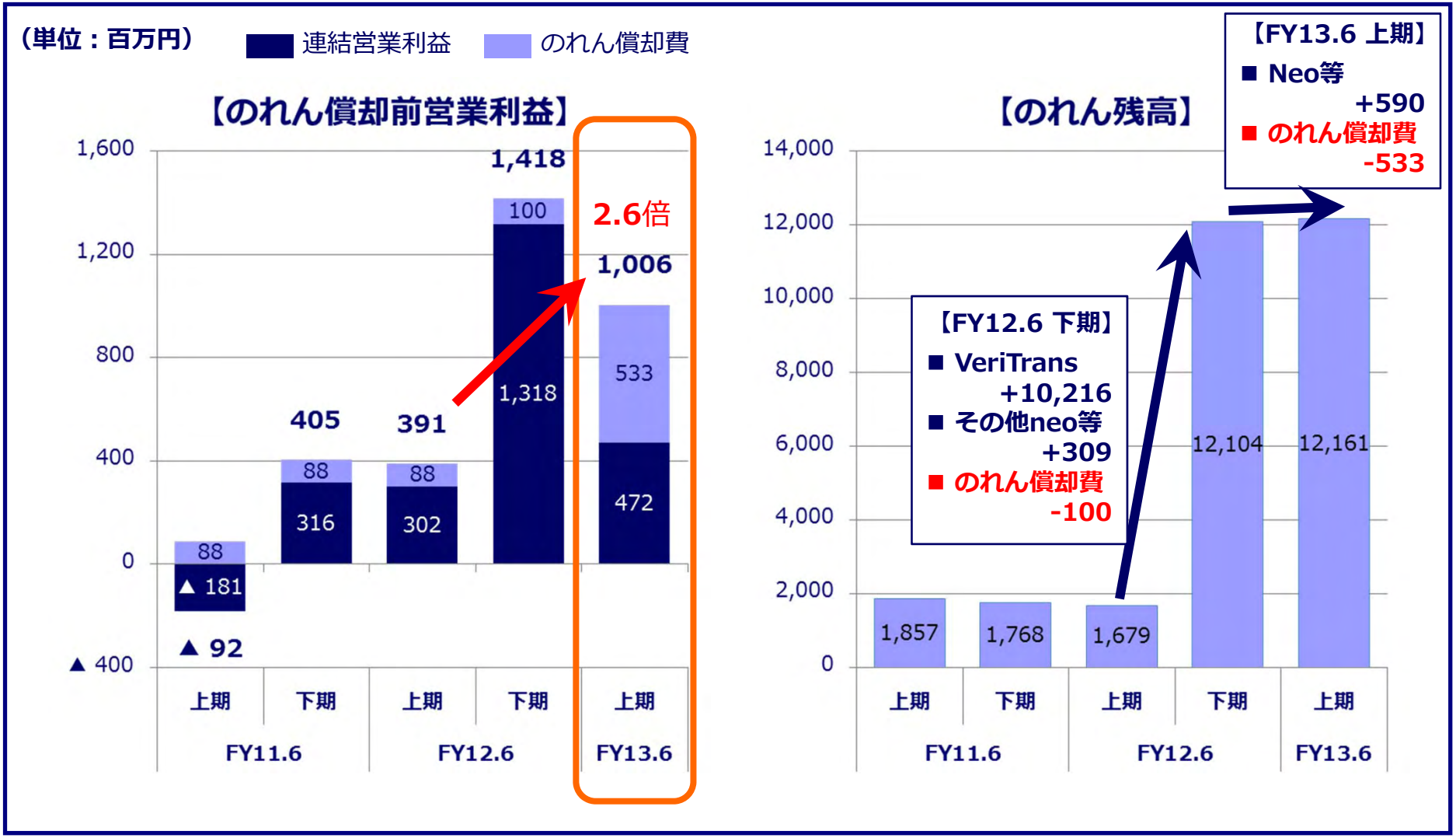
Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

（参考）のれん償却前営業利益の半期別推移

context company

～ のれん償却前営業利益（実質営業利益）は前年同期比2.6倍 ～

（単位：百万円）



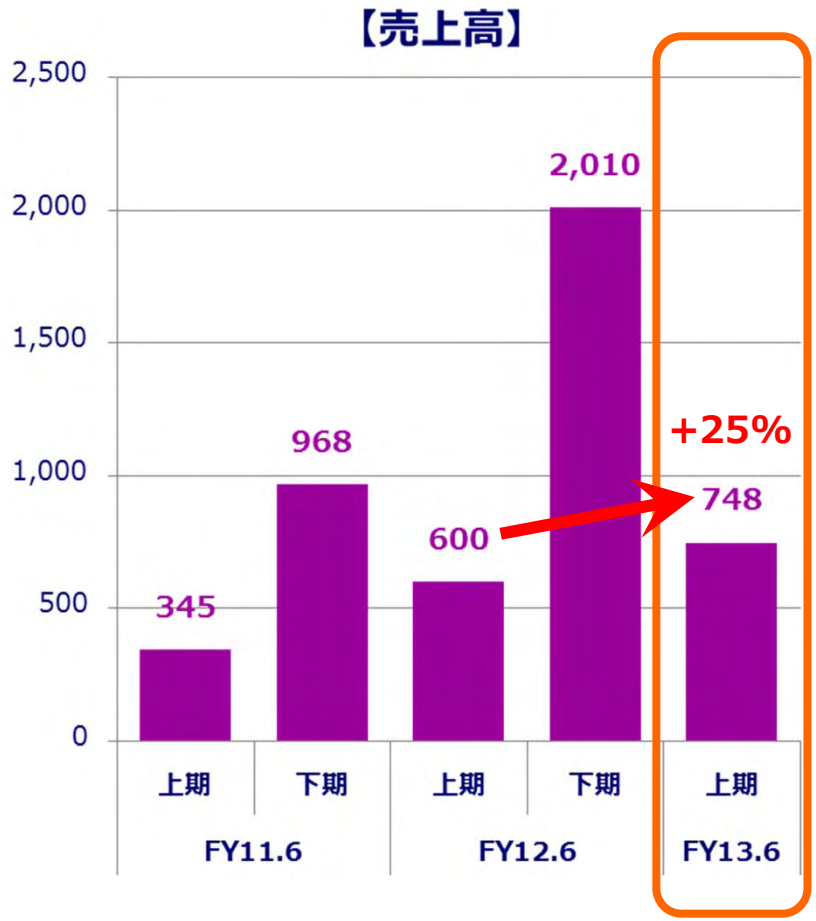
Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

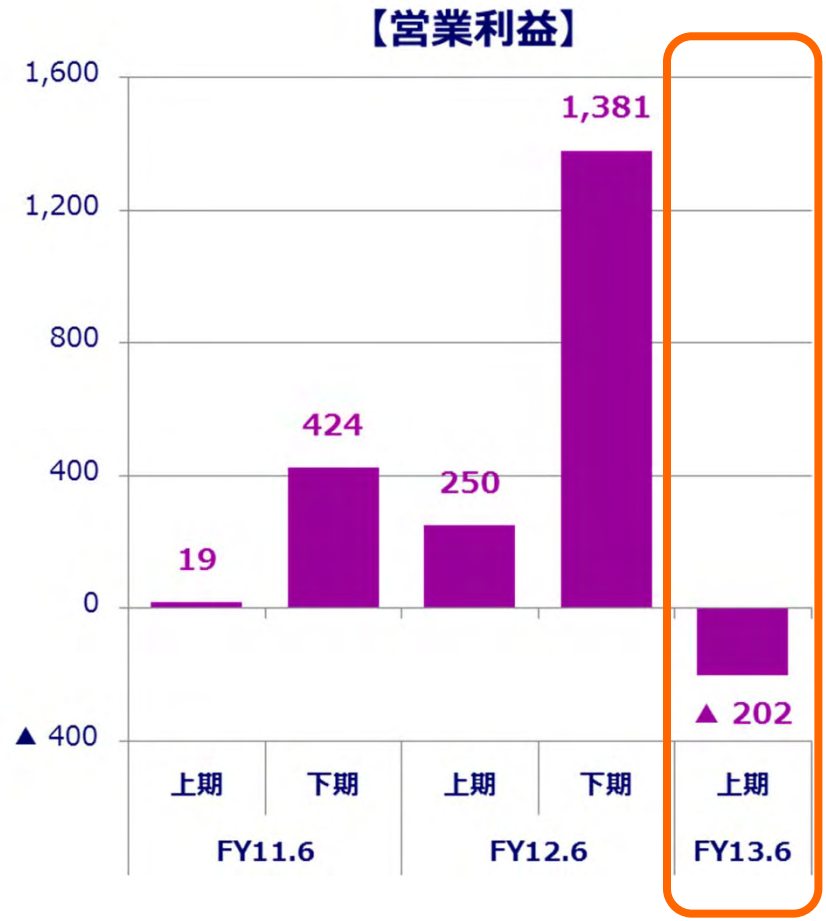
「インキュベーション セグメント」の半期別推移

context company

～ 株式売却の期ずれ及びUSアジャイル開発会社（Neo）の創業赤字計上 ～

（単位：百万円）





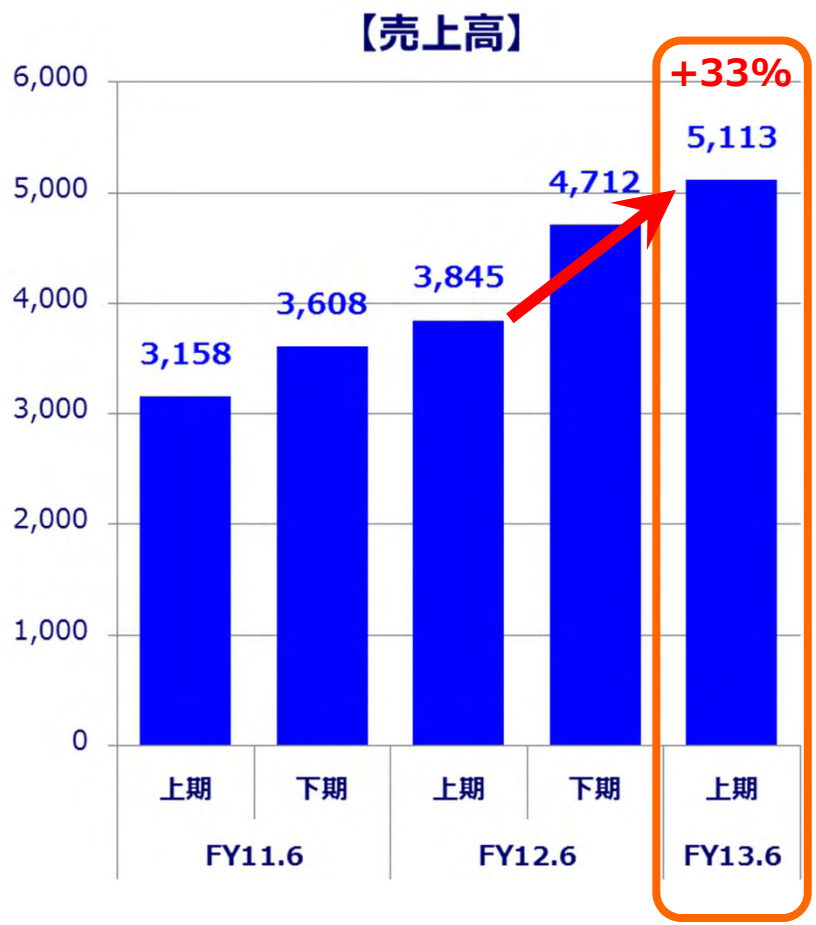
Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

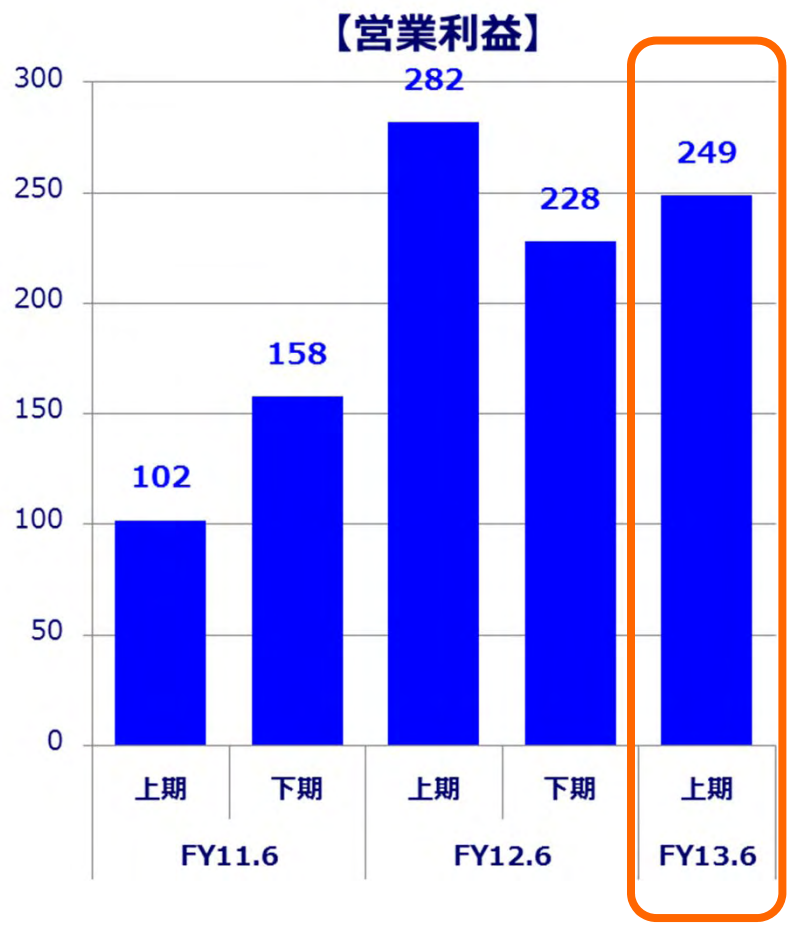
「マーケティング セグメント」の半期別推移

context company

～ ネット広告が牽引、次世代事業の研究開発開始 ～

（単位：百万円）





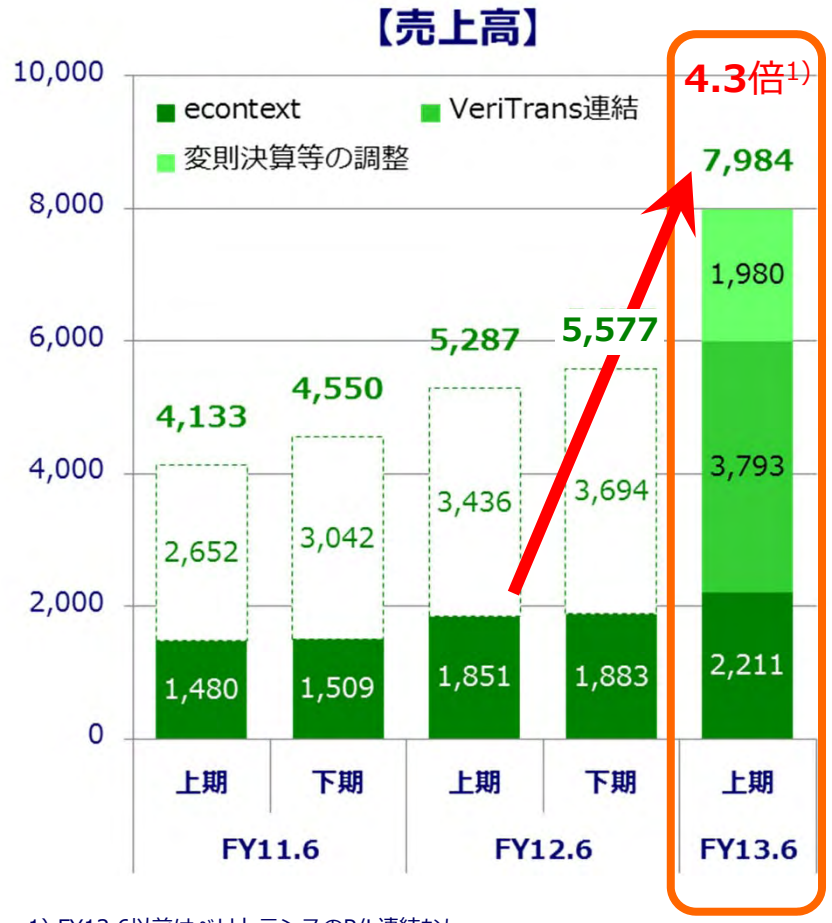
Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

「ペイメント セグメント」の半期別推移

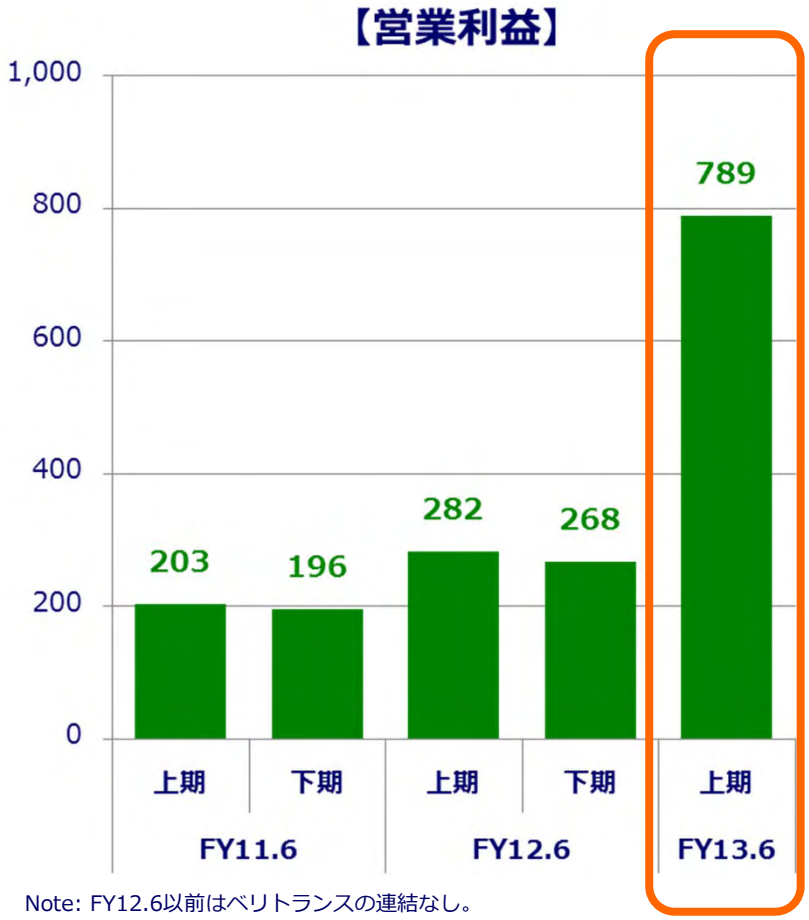
context company

～ [イーコンテクスト]、[ベリトランス]ともに好調持続 ～

（単位：百万円）



Note: 1) FY12.6以前はベリトランスのP/L連結なし。
FY12.6以前において同社を連結したと仮定した場合の増加割合は1.5倍。



Note: FY12.6以前はベリトランスの連結なし。
連結に伴うのれん償却費等の関係で、売上高のように分離表記ができないが、
営業利益の大幅な伸長はベリトランスの連結を開始したことが主要因。

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2013年6月期 通期業績予想 P/L （連結）

context company

FY13.6通期業績予想の上方修正

単位：百万円	FY12.6	FY13.6		FY13.6 2Q	
	（通期実績）	（期初予想）	（修正予想）	（累計実績）	（修正予想進捗率）
売上高	14,903	25,000	27,000	13,846	*51%*
営業利益	1,621	1,650	1,650	472	*29%*
経常利益	2,708	2,800	2,800	1,167	*42%*
当期純利益	2,106	1,700	1,700	913	*54%*
EBITDA	2,967	4,000	4,000	2,269	*57%*

< 2013年6月期 通期業績修正の要因 >

- 売上高の上方修正
  - [ベリトランス](連結）が決算期変更に伴い15ヵ月の変則決算となるため
- 営業利益以下の据え置き
  - 期初計画になかった香港の決済HQの設立及び運営コストの発生が見込まれるため

Note: EBITDAは簡易試算

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2013年6月期 第2四半期末 要約B/S （連結）

context company

（単位：百万円）	FY12.6末	FY13.6 2Q末	前期末比（金額）	主たる変動要因/備考
流動資産	28,005	31,124	+3,119	
現預金	12,308	11,814	-494	前期分法人税と配当金の支払
未収入金	7,577	10,295	+2,718	決済事業関連科目
金銭の信託	3,404	3,662	+258	決済事業関連科目
営業投資有価証券	1,904	2,327	+423	
固定資産	21,333	22,482	+1,149	
投資不動産	2,677	2,543	-134	サンフランシスコ不動産
のれん	12,104	12,161	+57	■ 流動比率 98%(12/6) → 132%(12/12)
資産合計	49,338	53,606	+4,268	
流動負債	28,505	23,593	-4,912	
預り金	14,956	18,758	+3,802	決済事業関連科目
有利子負債	10,740	2,562	-8,178	借入金を長期に切り替えたことによる財務の健全化
固定負債	355	9,211	+8,856	
有利子負債	183	9,047	+8,864	
純資産	20,476	20,802	+326	
利益剰余金	4,505	5,201	+696	■ 自己資本比率 41%(12/6) → 38%(12/12)
負債・純資産合計	49,338	53,606	+4,268	

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

事業セグメント別レビュー

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DG中期3ヵ年計画のコンセプトとスローガン - Lean Global -

context company



Lean Global

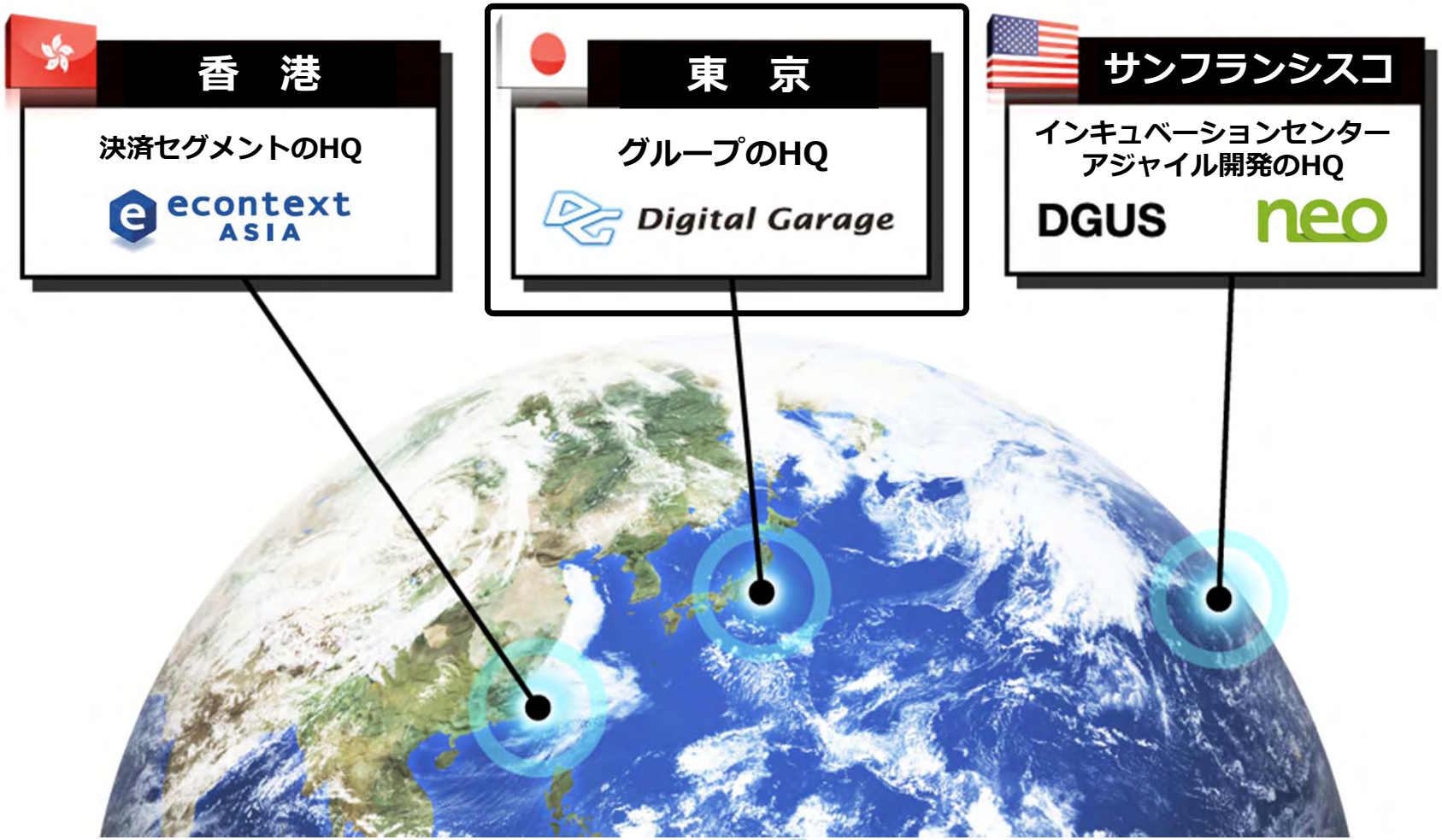
Providing New Contexts

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DG中期3ヵ年計画のエリア戦略 - グローバル3極展開 -

context company

Lean Global 3つのHQ



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グループ事業セグメント

context company

3つの事業セグメントによる ”Lean Global” の推進

I インキュベーションセグメント

インキュベーション関連事業の統合
(メディア・インキュベーションとベンチャー・インキュベーションを統合)

- 国内外の有望ベンチャー投資育成
- 国内外のメディア開発
- Lean Startup手法による技術開発/事業開発

II マーケティングセグメント

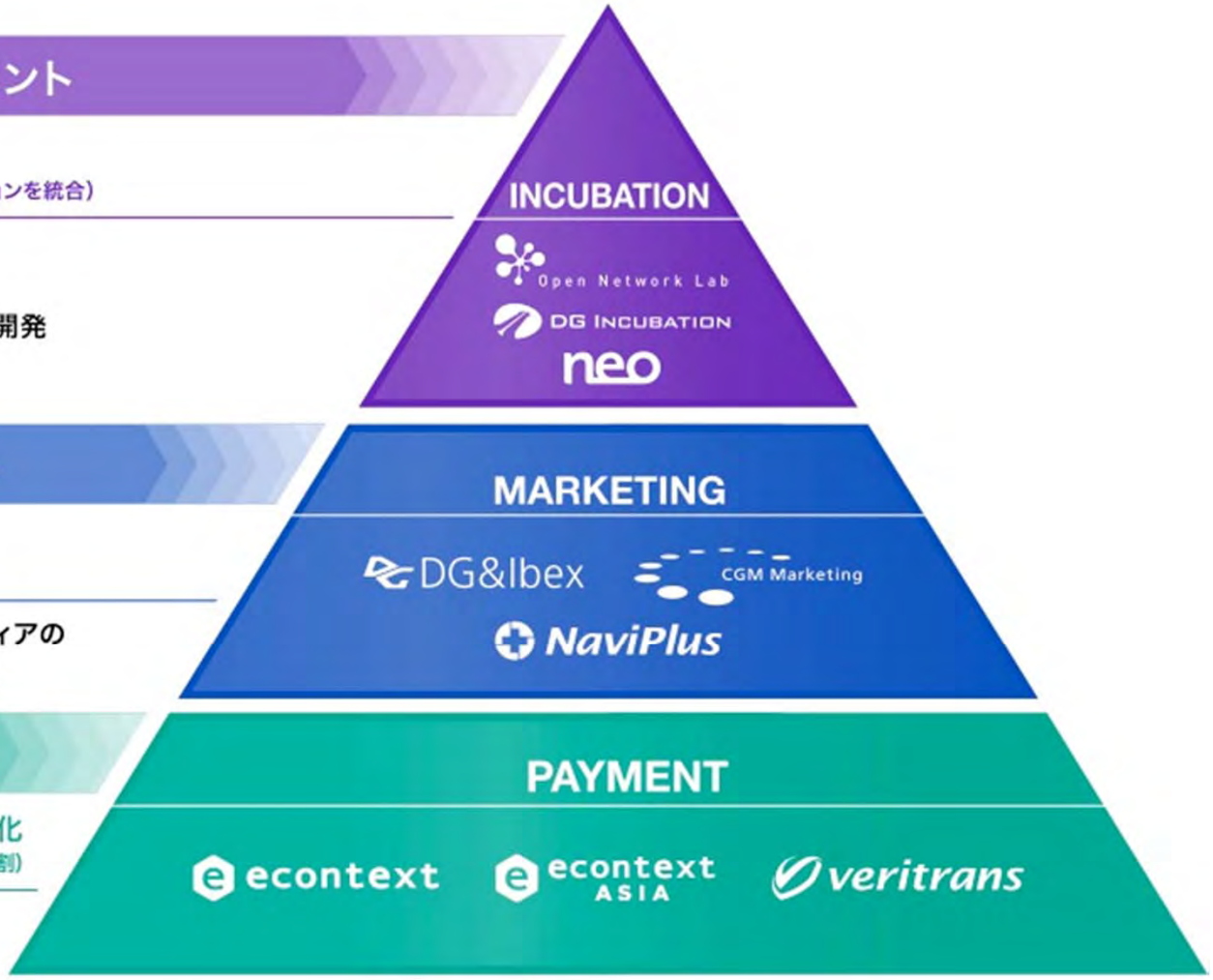
マーケティング事業の新設
(DG&Ibexカンパニーと CGMマーケティングを一体運営)

- 広告/プロモーションならびにグループメディアの オーディエンスデータを活用したDSP事業

III ペイメントセグメント

ベリトランスの連結化による決済事業の一元化
(ハイブリッド・ソリューション事業から決済事業をペイメントに分割)

- 国内最大級のオンライン決済インフラ
- アジア・プラットフォーム



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

I インキュベーション

		売上高	営業利益
2012年6月期	2Q(7-12月)累計実績	600 百万円	250 百万円
2013年6月期	2Q(7-12月)累計実績	748 百万円	▲ 202 百万円
2013年6月期	通期計画（期初計画）	2,800 百万円	500 百万円

- 株式会社 DGインキュベーション
  DG INCUBATION （ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業）
- 株式会社 Open Network Lab
  Open Network Lab （シードアクセラレータープログラムの第6期を実施中）
- Neo Innovation, Inc.
  neo （米国サンフランシスコをHQとするアジャイル開発）
- グローバルインキュベーション本部 （デジタルガレージ社内カンパニー）

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

「インキュベーション セグメント」の事業コンセプト

context company

インキュベーションエコシステムをグループ内にプラットフォーム化

発掘・投資から開発・事業支援まで、投資先/新規事業の成長フェーズに
合わせたグローバルな育成スキームにより投資収益の最大化を狙う



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

「インキュベーション セグメント」の事業戦略

context company

シリコンバレー中心の海外投資展開および日本発の優良ベンチャー企業の投資・育成

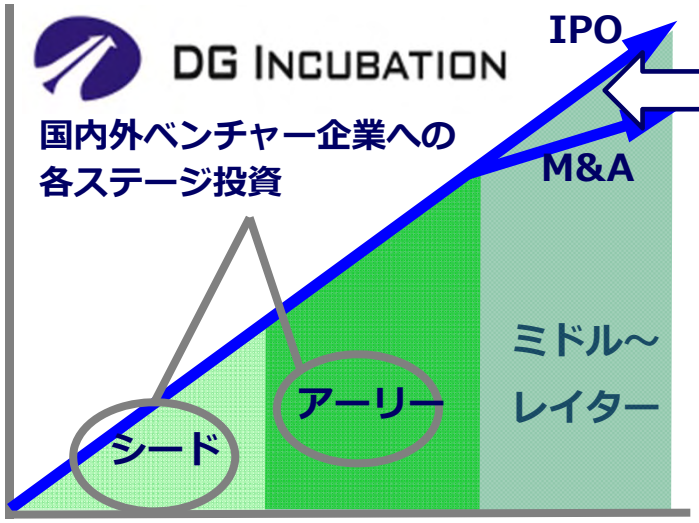
グローバル開発ネットワーク/サンフランシスコ・インキュベーションセンターと連動
“インポート、エクスポート” に “グローバル” を加えた全方向による投資・育成モデルの確立

インポートモデル

- **国内外有望ベンチャー企業に対する投資・育成**
- **海外発の日本ローカライズによる世界展開支援**

エクスポートモデル

- **国内有カスタートアップ企業に対する投資**
- **日本発「Lean Global企業」の世界展開支援**



◆アジャイル開発
ネットワークを活用

neo

◆新インキュベーション
センターとの連動

グローバル・インキュベーションを加速

Open Network Lab

**国内シードステージ
有望ベンチャー企業育成**

http://onlab.jp/

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[DGインキュベーション]のハイライト

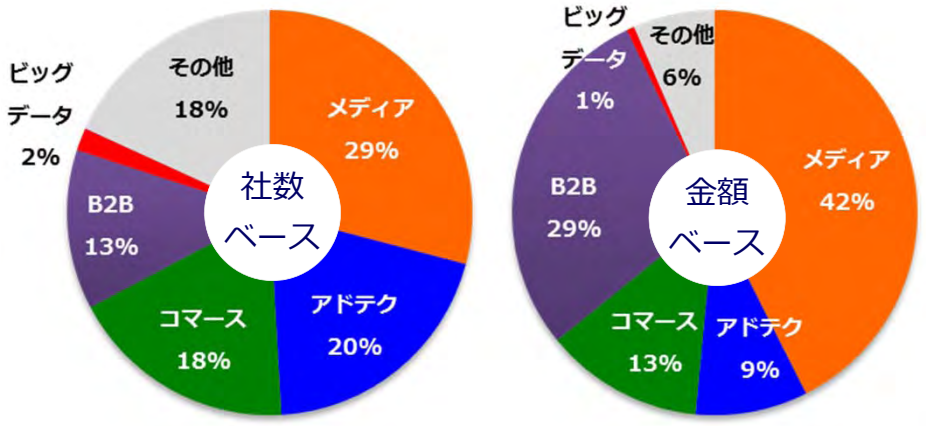
context company

国内外の有望なベンチャー企業に積極投資
広告や決済といったDGグループ内の事業との連携による育成を図る

ポートフォリオの状況

分類	社数/件数	金額
エクイティ	55	2,218 百万円
国内企業	16	961 百万円
海外企業	39	1,257 百万円
ファンド	4	416 百万円
合計	**59**	**2,634 百万円**

■ セクター別分布（エクイティ）



主な新規投資先

Tokyo Otaku Mode Inc.　[海外/メディア]
日本のオタク文化を世界に発信するメディアを開発・運営
Facebookで1,000万以上のLikeを獲得

Kiip, Inc.　[海外/アドテク]
スマホアプリ向け広告プラットフォームを開発・運営
米国では既に有力アプリ中心に約600本に広告配信中
＜THE WORLD'S 50 MOST INNOVATIVE COMPANIES 2013 の1社に選出（Fast Company）＞

オーセンスグループ株式会社　[国内/メディア]
日本最大級の法律相談ポータルサイトを開発・運営
同サイトの登録弁護士は5,000名超

ヴァズ株式会社　[国内/メディア]
スマホ向けの料理写真投稿サービスを開発・運営
北米やアジアを含む世界81ヵ国で60万以上ダウンロード

グループのEnabling Platform（2つの収益基盤）を最大限に活用したグローバルなインキュベーションを推進

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[Open Network Lab]のハイライト

Open Network Lab
～日本のスタートアップを世界へ～

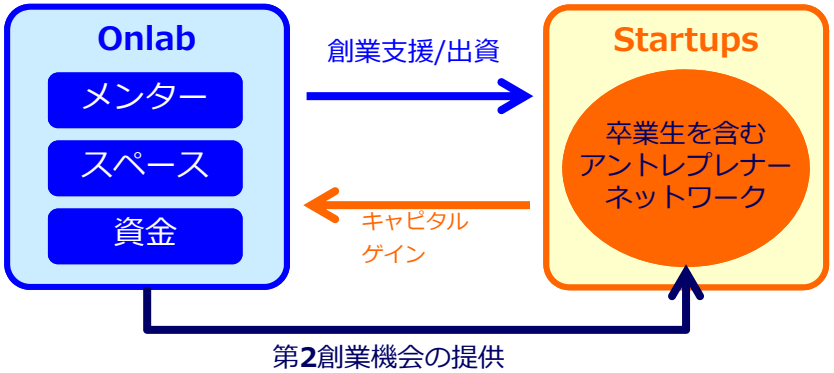
context company

日本を代表するシードアクセラレーターとして順調にOnlabブランドを確立

- 活動開始から２年半が経過し、延べ100人超の起業家/エンジニアを育成
- サンフランシスコ、アジアへの海外展開や連動プログラム/イベントを準備中

【Onlabのビジネスモデル】

① シード・アクセラレーター
（創業支援プログラム）
② 起業関連イベントの開催
③ 投資



現在、第6期プログラムを実施中

【起業家を支援する活動の例】

■ 国内外の一流起業家を招いたイベントを定期的に開催

GitHub創業者



元IDEOディレクター



■ 起業家が集まるコワーキングスペースとして代官山と鎌倉にOpen Network Spaceを開設





Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[Neo Innovation, Inc.]のハイライト

context company

第一線のアジャイル開発企業を束ねるM&Aが完了、世界規模の事業体制を確立
New ContextからNeoへとブランドを変更し、本格的な事業拡大フェーズへ

マネジメントチーム



Kaoru Hayashi Co-Chairman
デジタルガレージ グループCEO



Joi Ito Co-Chairman
MIT Media Lab 所長



Ian McFarland President
Pivotal Labsのプリンシパル等を歴任



Eric Ries General Partner
Lean Startup 提唱者



Mikihiro Yasuda CEO
カカクコムのCTO, COO等を歴任



Kent Lindstrom COO
FriendsterのCEO等を歴任



Evan Henshaw-Plath CTO
Twitterの前身であるOdeoでLead developer等を歴任

グローバル・カバレッジ

【北米】
San Francisco(HQ)
New York
Columbus
Cincinnati
Durham

【欧州】
Edinburgh
Dublin
London(準備中)



【南米】
Montevideo/Uruguay

【アジア】
Singapore

カンファレンス

The Lean Startup Conference 2012

Neo主催で12月にサンフランシスコにて開催。大企業・ベンチャー・官民両サイドからの潜在顧客が多数参加。


Eric Ries


米国のCTO


Dropboxの創業者


Marc Andreessen

■ 参加者1万名以上（同時ストリーミング含む） ■ 米国CTOを含むスピーカー50名以上

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[グローバルインキュベーション本部]のハイライト

context company

海外の開発体制完成とMIT Media Labとの連携を軸に新体制へシフト

国内外のグループ連携を強化する核としてグローバルインキュベーションをドライブ

グローバルな開発体制の完成

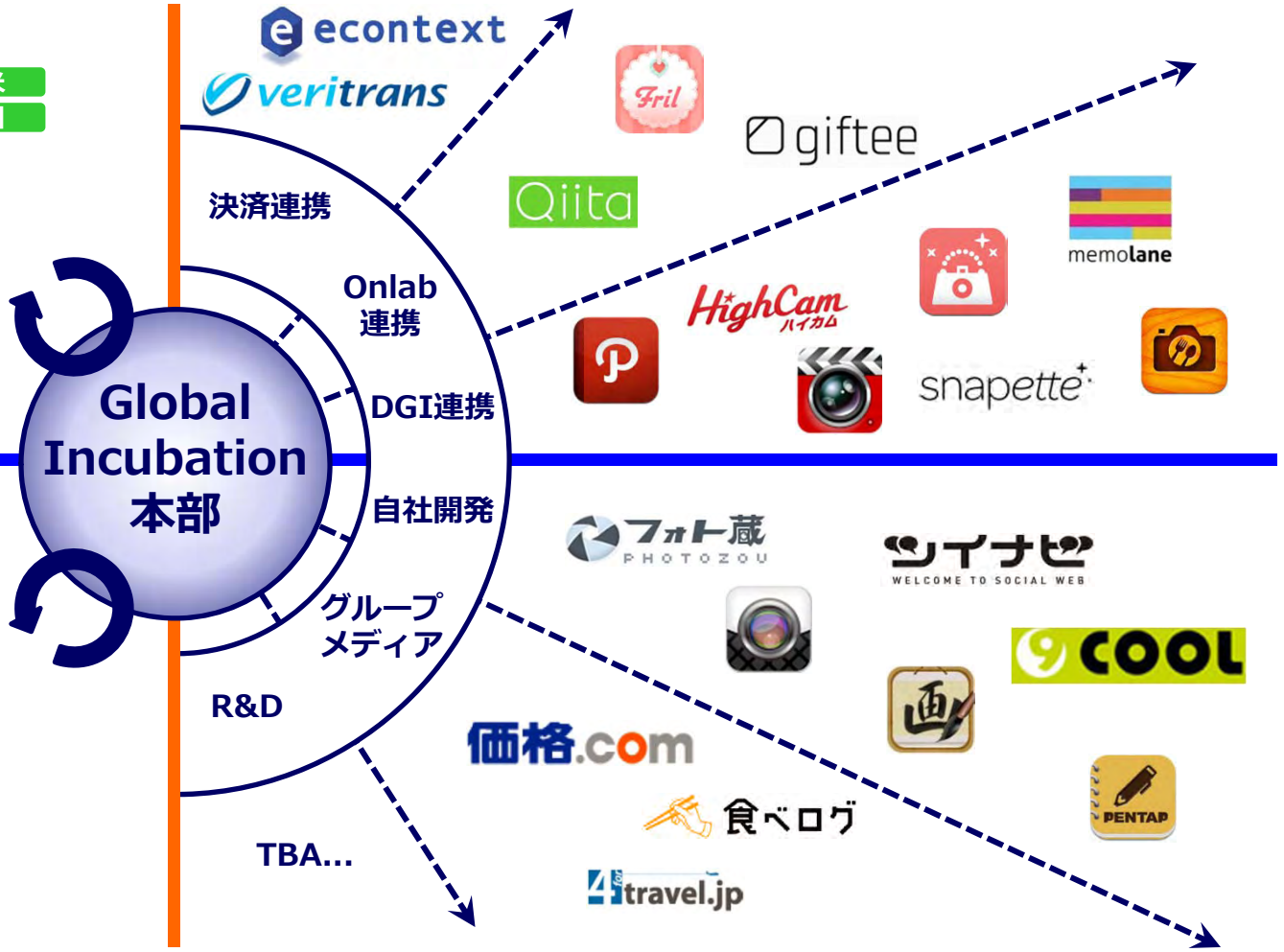
neo 北米 南米 アジア 欧州

最先端の開発手法であるアジャイル開発とリーンスタートアップを融合し、実践的な開発体制をグローバルに構築。

世界最先端のR&Dシード発掘

MIT Media Lab

DGからMIT Media Labへ事業化の目利きを主目的として研究員を派遣。継続的に世界最先端のR&Dシードを発掘。



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Ⅱ マーケティング

		売上高	営業利益
2012年6月期	2Q(7-12月)累計実績	3,845 百万円	282 百万円
2013年6月期	2Q(7-12月)累計実績	5,113 百万円	249 百万円
2013年6月期	通期計画（期初計画）	9,200 百万円	600 百万円

- DG&Ibexカンパニー
  DG&Ibex （デジタルガレージ社内カンパニー）
- 株式会社CGMマーケティング
  CGM Marketing （ソーシャルマーケティングおよび最先端アドテクノロジーを提供）
- ナビプラス株式会社
  NaviPlus （ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供）

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

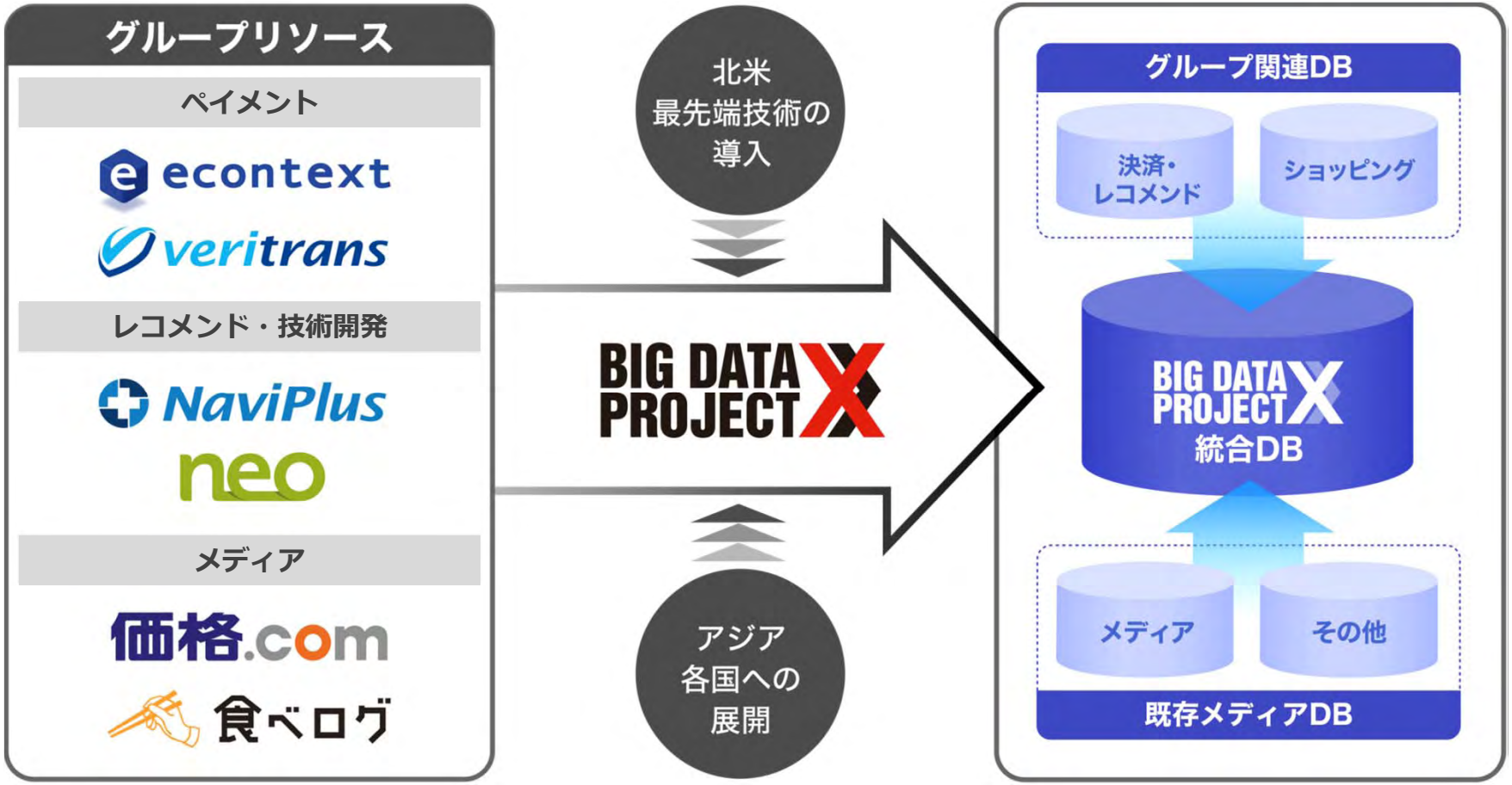
「マーケティング セグメント」の事業戦略

context company

既存事業の深耕と次世代戦略事業の早期確立を実現

◆底堅く推移しているマーケティング・ソリューションビジネスの更なる伸張を加速
⇒「No.1ソーシャルビジネス企業＝DG」の更なるブランディング化とO2O戦略の実践

◆電通との資本業務提携による「オーディエンスデータ事業」をグループをあげて次世代の柱へと育成
⇒米国最先端技術のいち早い導入等を通した「ビジネスインテリジェンス事業」の確立



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[DG&Ibexカンパニー]のハイライト

context company

2013年6月期2Q（7～12月）の実績

売上総額	クライアント数	クライアント単価
45.6 億円	236 社	1,931 万円
（前年同期比）+29%	（前年同期比）±0%	（前年同期比）+29%

前期の好調を維持、過去最高の半期売上高を更新

DG&Ibex

【成長の要因】

ソーシャルメディア・アプリに関する知見をベースとした
業界特化型ソリューションが引き続き好調

◆デジタル・ソリューション領域

- コスメ・金融等、業界特化戦略と独自のデジタルプランニング力が評価され、前年同期比29%増収を実現
- 消費者ニーズと合致し、ポイントモールはモール流通額(半期分)が前年同期比37%増の197億円に成長

◆新たなマーケティングソリューション領域

- オーディエンスデータ事業への着手
- サイバーとリアルを融合したO2Oソリューション事業の開始
  （食べログ、Snap Dish との広告販売連動等）



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[CGMマーケティング]のハイライト

CGM Marketing

context company

◆Twitterに続き、Facebook及びLinkedInの広告事業を開始

◆米国発、アプリネットワークのkiipと連携したスマホ広告事業を開始

最先端アドテクノロジーを活用した新規事業の推進

- DSPを展開する TRIGGIT を通じ、**Facebook**のリターゲティング広告を開始。また、**LinkedIn**の広告に着手。
- スマホ向け広告プラットフォームを展開する kiip を通じ、スマホアプリへも広告配信を開始。
- 従来から手掛けるTwitterと合わせ、広範囲のSNS及びスマホアプリをカバレッジ。最先端のアドテクノロジーを活用し、次世代の広告配信ネットワークを構築。



既存事業（公式バナー広告、Tweetmanager）の好調

- Twitterの公式バナー広告事業は堅調に推移。
- 電通・ADKとも連携し、ライフライン企業やCRM重視企業を中心に Tweetmanager の導入社数を拡大中。

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

[ナビプラス] のハイライト

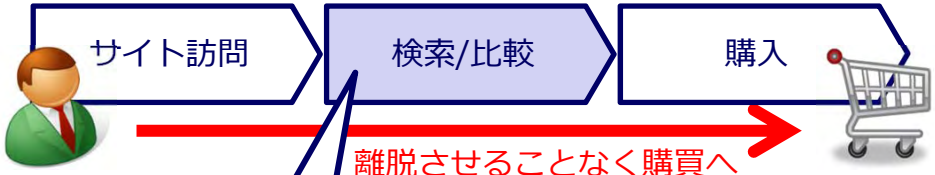
context company

ユーザーの利便性を高めるレコメンドやサイト内検索エンジン等をASPとして提供
各サイトの収益力を高め、DGグループの決済取扱高の拡大にも貢献

ビジネスモデル

レコメンドやサイト内検索といったツールを提供、サイト訪問者の購買CVRを上げ、各ECサイトの収益力を高める。

【ECサイトにおけるユーザーの購買プロセス】



NaviPlus



この商品見ている人は、これも見ています。

あなたにお勧めの商品はこちらです。

etc.

国内で有力サイト600超の導入実績

検索国内トップ（株）コトハコの買収

日本最大級のサーチ&レコメンドエンジンが完成

NaviPlus レコメンドサービス ＋ コトハコ サイト内商品検索サービス

レコメンド市場ポジショニング



低価格、簡単導入を実現し、あらゆる規模のサイトで高品質の検索、レコメンドサービスの利用が可能に。

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

Ⅲ ペイメント

		売上高	営業利益
2012年6月期	2Q(7-12月)累計実績	1,851 百万円	282 百万円
2013年6月期	2Q(7-12月)累計実績	7,984 百万円	789 百万円
2013年6月期	通期計画（期初計画）	13,000 百万円	1,400 百万円

- econtext ASIA Ltd.（決済事業HQ、香港法人）
- 株式会社イーコンテクスト（国内最大規模の現金系決済プロバイダー）
- ベリトランス株式会社（国内最大規模のカード決済プロバイダー）
  - eCURE株式会社（EC向けセキュリティサービス）
  - iResearch Japan株式会社（中国ITマーケットリサーチ）
  - 株式会社シェアリーチャイナ（中国観光客インバウンド事業）

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

「ペイメントセグメント」の事業戦略

context company

日本最大級の決済プラットフォームから全アジアNo.1決済プラットフォームへ

- 順調に推移する[イーコンテクスト]、[ベリトランス]の国内連携の推進と顧客視点のソリューション開発
- econtext ASIA設立後、香港やインドネシアといった戦略エリアでの現地ニーズに合わせた事業展開

ペイメントHQ

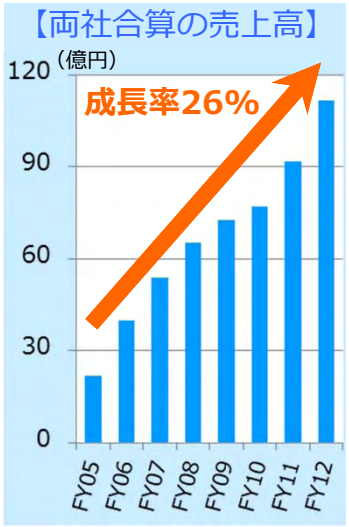
econtext ASIA

日本

国内最大級の決済インフラ

econtext × veritrans

- 業界再編
- クロスセリング推進
- スケールメリット実現



アジア

アジアNo.1決済インフラの構築へ

現地の文化・商習慣に合わせた展開

香港

インドネシア

合弁設立・M&A

各国の現地有力企業

iResearch

midPlaza PT. MIDPLAZA PRIMA

・・・

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

国内「ペイメント事業」のハイライト

context company

2013年6月期2Q（7～12月）の実績

提携サイト数	取扱件数	取扱高
83,333 サイト	7,377 万件	3,448 億円
（前年同期比）+69.3%	（前年同期比）+16.7%	（前年同期比）+21.1%

[イーコンテクスト]、[ベリトランス]ともに過去最高の取扱高、取扱件数を更新中

econtext　veritrans

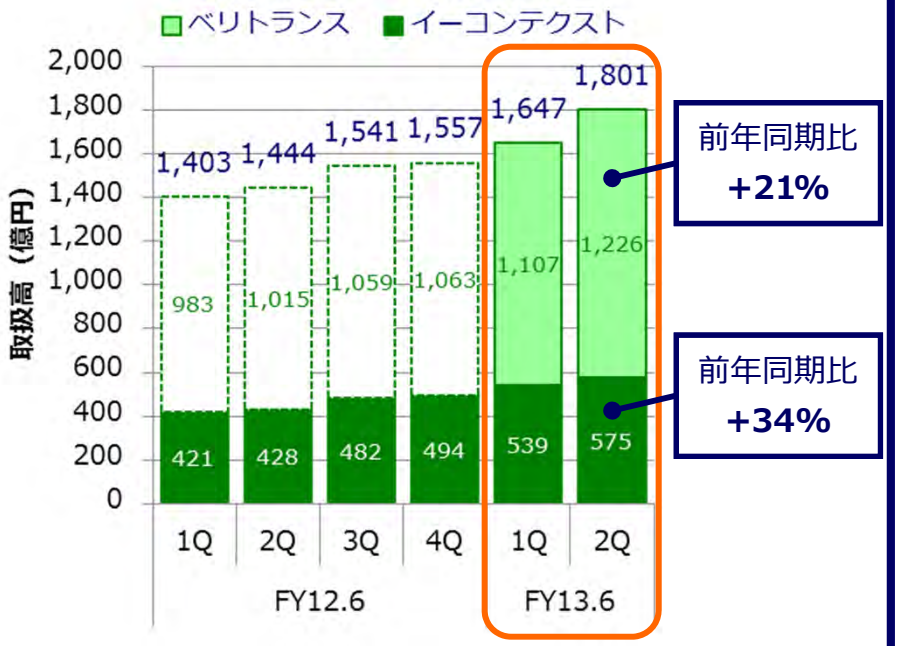
【成長の要因】

[イーコンテクスト]と[ベリトランス]双方の強みを活かした既存事業の伸長と、積極的な新領域開拓が貢献

◆ [イーコンテクスト]
- 主力領域（ゲーム・旅行）が引き続き好調
- 当四半期の決済取扱高は過去最高、前年同期比34%増

◆ [ベリトランス]
- 決済と広告の融合で、収益機会の拡大ならびに競合に対する価格競争力が向上
- 当四半期の決済取扱高は過去最高、前年同期比21%増

【取扱高の四半期推移】



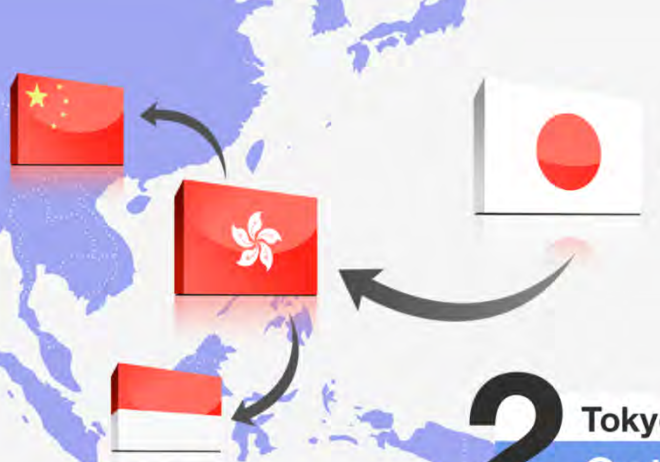
Note: ベリトランスは今期から連結開始も、比較便宜上、前年数値にベリトランス分を含めている。

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

インキュベーションストリームと「ペイメントセグメント」

context company

各拠点の戦略/役割



1 San Francisco
Innovation

- 先進メディアへのコンタクト
- 開発／マーケティング／決済技術の獲得／投資

2011年-現在

neo

世界的に有名な
アジャイル開発ネットワークを超える
次世代型開発ネットワークの完成

米国を代表する
インキュベーションセンターの立ち上げ

2 Tokyo
Optimization

- メディア開発／買収
- マネタイズプラットフォームの開発

2012年-2013年

Open Network Lab　Digital Garage

Global Incubation本部との連動

- 日本発世界 ⟶
- 米国発日本 ⟵

双方向の投資

3 Hong Kong
Monetization

- メディア開発／ノウハウ移転
- ユーザーグロースの追求
- マネタイズの実行

2013年-2015年

econtext　veritrans

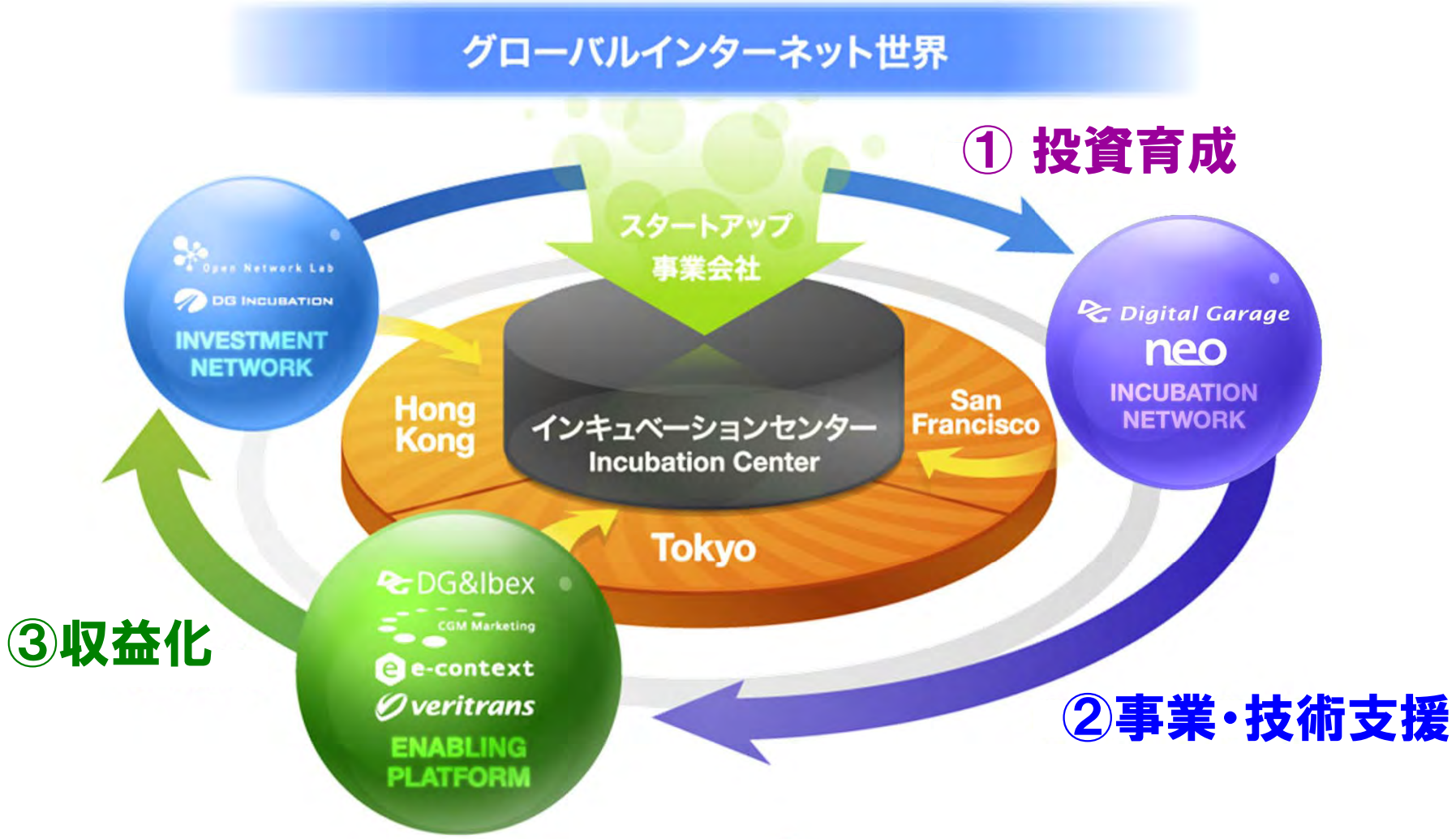
ペイメントHQとの連動
決済プラットフォームを軸とした
アジアにおける投資

Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

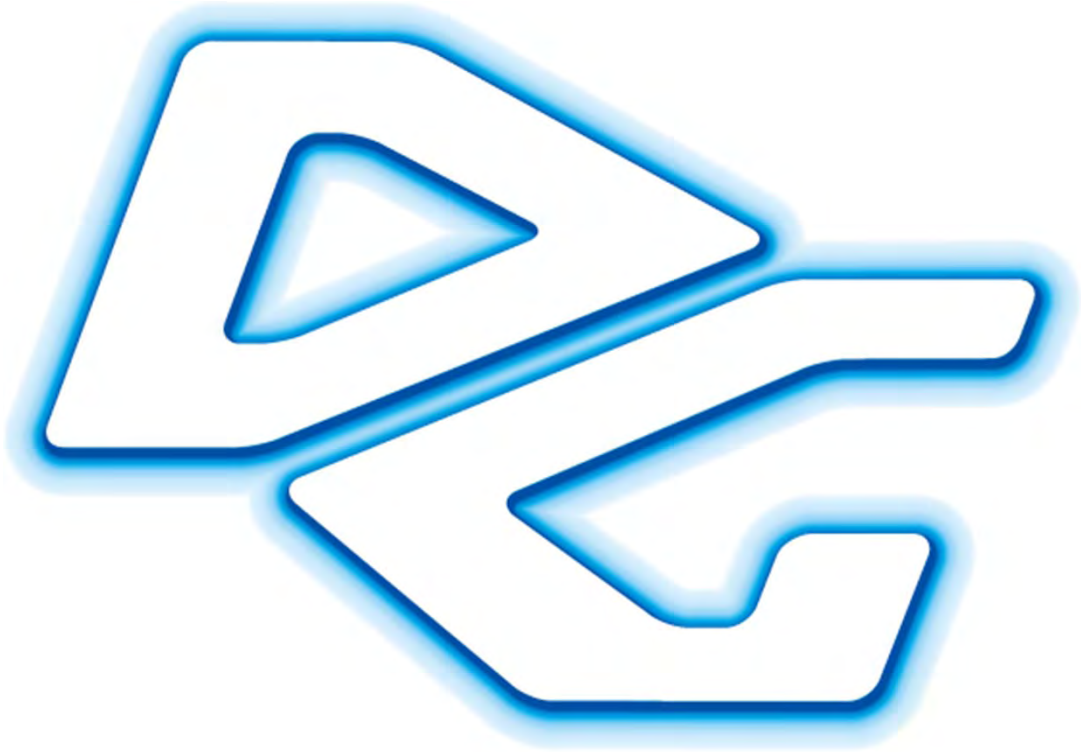
グローバル・インキュベーション・エコシステム

context company

継続的に機能するグローバルなインキュベーション・エコシステムの構築へ



Copyright © 2013 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、
様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。